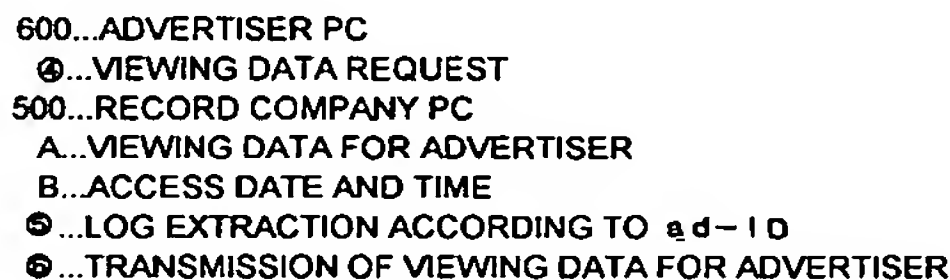




(10) 国際公開番号  
**WO 03/060731 A1**

- [統葉有]

(54) 発明の名称: コンテンツ配信装置およびコンテンツ作成方法



〔統葉有〕



ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, OM, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, SI, SK, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB,

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

server (200) delivers PVad. The PVad contains PV-ID for identifying an artist contained in the video correlated with ad-ID specifying an advertisement element. The PVad service server (200) records the delivery log in a PVad viewing counter DB (400). An advertiser PC (600) requests viewing data and the PVad service server (200) extracts viewing log according to the ad-ID from the data recorded in the PVad viewing counter DB (400) and transmits it as advertiser viewing data.

(57) 要約:

宣伝広告機能の高いコンテンツの作成方法および、そのようなコンテンツの配信に好適なコンテンツ配信装置を提供することを目的とする。ユーザPC (100) は、PVadサービスサーバ (200) にアクセスしてPVad (広告要素を含んだプロモーションビデオ映像) の配信を要求し、PVadサービスサーバ200は、PVadを配信する。PVadは、ビデオ映像に含まれるアーティスト等を特定するPV-IDと、広告要素を特定するad-IDとに対応づけて記録されている。PVadサービスサーバ (200) は、その配信ログをPVad視聴カウンタDB400に記録する。広告主PC (600) は、視聴データを要求し、PVadサービスサーバ (200) は、PVad視聴カウンタDB (400) に記録されたデータから、ad-IDに基づいて視聴ログを抽出し、広告主視聴データとして送信する。

## 明細書

## コンテンツ配信装置およびコンテンツ作成方法

## 5 関連出願の参照

日本国特許出願 2 0 0 2 - 0 0 7 0 1 6（平成 1 4 年 1 月 1 6 日出願）の明細書、請求の範囲、図面および要約書を含む全開示内容は、これら全開示内容を参照することによって本出願に合体される。

## 10 技術分野

この発明は、ネットワークを介して、広告要素を含んだコンテンツを配信するコンテンツ配信装置およびコンテンツ作成方法に関するものである。

さらに、この発明は、2 つ以上の異なるパラメータによって定義されるデータの配信ログを、各パラメータを基準とした個別の配信ログとして取得する技術を含む。より具体的には、異なるパラメータによって定義されるデータに対して、それらのパラメータを含めた情報をヘッダ情報として記録しておく。そして、データの配信が行われる毎に、各パラメータを基準とした個別の配信ログを、そのヘッダ情報を利用して効果的に記録する技術を含む。

## 20 背景技術

インターネットや番組放送で発信されるコンテンツは、そのコンテンツの発信者のメッセージを伝える手段の一つである。そのため、そのようなコンテンツが備えるメッセージ伝達手段を利用することによって商品等の宣伝広告活動を行う目的で、広告主がコンテンツ制作資金を提供することが通常行われている。

近年、テレビ番組のほか、インターネットによるコンテンツ配信、蓄積型放送の導入により多チャンネルの時代に移行しつつある。そして、多チャンネルであるために、視聴者がコンテンツに接触する時間が相対的に減少することが予想される。したがって、コンテンツ製作者は、より質の高いコンテンツを制作する必要性が生じてくる一方で、広告主の側からしても、多数あるコンテンツの中から、

より効果的に自社の商品またはサービスの宣伝を行うことが可能なコンテンツを選択する必要性が生じるものと思われる。また、そのような必要性に対応するために、コンテンツの配信を効果的に管理するWeb技術の開発が望まれている。

## 5 発明の開示

この発明は、上記のようなコンテンツ製作者、コンテンツ制作のスポンサーとなる広告主の必要性に鑑みて、より宣伝広告機能の高いコンテンツの作成方法および、そのようなコンテンツの配信に好適なコンテンツ配信装置を提供することを目的とする。

10 さらに、この発明は、2つ以上の異なるパラメータによって定義されるデータの配信ログを、各パラメータを基準とした個別の配信ログとして取得する技術を含む。より具体的には、異なるパラメータによって定義されるデータに対して、それらのパラメータを含めた情報をヘッダ情報として記録しておく。そして、データの配信が行われる毎に、各パラメータを基準とした個別の配信ログを、その  
15 ヘッダ情報を利用して効果的に記録する技術を含む。

1) 本発明のコンテンツ配信装置は、

ネットワークを通じてコンテンツを配信するコンテンツ配信装置であって、  
前記コンテンツは、

コンテンツ部分と広告部分とを含むデータによって構成されており、

20 前記コンテンツ配信装置は、

前記コンテンツ部分に関する情報を示すコンテンツ部分指示情報および前記広告部分に関する情報を示す広告部分指示情報と対応づけて、前記コンテンツを記録するコンテンツ記録手段、

前記コンテンツを配信するコンテンツ配信手段、

25 を備えたことを特徴とする。

これにより、前記コンテンツの配信を受けるユーザは、自己の興味のあるコンテンツ部分を視聴しつつ、前記広告部分を充分認識することになる。したがって、前記コンテンツは、高い宣伝広告機能を有することとなり、前記広告部分の広告対象についての販売促進効果が向上することとなる。

3) 本発明の前記コンテンツ配信装置は、さらに、

前記コンテンツ配信手段が前記コンテンツを配信する際に、前記コンテンツ部分指示情報および前記広告部分指示情報と対応づけて、その配信履歴に関する配信履歴データを記録する配信履歴データ記録手段、

5      を備えたことを特徴としている。

これにより、複数の前記コンテンツが配信される場合であっても、あるコンテンツ部分を含むコンテンツの配信履歴の結果はどうであるか、あるいは、ある広告部分を含むコンテンツの配信履歴の結果はどうであるか、という別々の基準に基づいて前記配信履歴を取得することができる。したがって、前記コンテンツ部分の制作者、および前記広告部分の制作者は、それぞれ、前記配信履歴データの中

10      から自分に必要なデータを簡易に取得することができる。

5) 本発明のコンテンツ配信履歴記録装置は、

ネットワークを通じて配信されるコンテンツの配信の履歴を記録するコンテンツ配信履歴記録装置であって、

15      前記コンテンツは、

コンテンツ部分と広告部分とを含むデータによって構成され、さらに、前記コンテンツ部分に関する情報を示すコンテンツ部分指示情報および前記広告部分に関する情報を示す広告部分指示情報と対応づけて記録されており、

前記コンテンツ配信履歴記録装置は、

20      前記コンテンツが配信されると、前記コンテンツ部分指示情報および前記広告部分指示情報と対応づけて、その配信履歴に関する配信履歴データを記録する配信履歴データ記録手段、

を備えたことを特徴としている。

これにより、複数の前記コンテンツが配信される場合であっても、あるコンテンツ部分を含むコンテンツの配信履歴の結果はどうであるか、あるいは、ある広告部分を含むコンテンツの配信履歴の結果はどうであるか、という別々の基準に基づいて前記配信履歴を取得することができる。したがって、前記コンテンツ部分の制作者、および前記広告部分の制作者は、それぞれ、前記配信履歴データの中

25      から自分に必要なデータを簡易に取得することができる。



7) 本発明の前記コンテンツ配信履歴記録装置は、さらに、

前記コンテンツ部分の提供元のユーザが、前記配信履歴データ記録手段に記録された配信履歴データの取得を要求した場合には、前記コンテンツ部分指示情報と対応づけて記録されている前記配信履歴データを、コンテンツ部分用配信履歴データとして抽出して前記コンテンツ部分の提供元のユーザに対して出力するコンテンツ部分用配信履歴データ抽出出力手段、

前記広告部分の提供元のユーザが、前記配信履歴データ記録手段に記録された配信履歴データの取得を要求した場合には、前記広告部分指示情報と対応づけて記録されている前記配信履歴データを、広告部分用配信履歴データとして抽出して前記広告部分の提供元のユーザに対して出力する広告部分用配信履歴データ抽出出力手段、

を備えたことを特徴としている。

これにより、前記コンテンツ部分の提供元のユーザ、および前記広告部分の提供元のユーザのそれぞれは、必要な配信データのみを簡易に取得することができる。この効果を逆にみると、前記コンテンツ配信装置は、不必要な配信履歴データをそれらのユーザに送信しないという効果がある。したがって、前記コンテンツ部分の提供元および前記広告部分の提供元が複数存在する場合にも、各提供元の配信履歴データに関する営業秘密を確実に保護することができる。

このように、ユーザ毎に前記配信履歴データのアクセス制限をすることができるのは、前記コンテンツを、そのコンテンツの構成要素を示す前記コンテンツ部分指示情報および広告部分指示情報という2種類のIDによって特定する、という前記コンテンツ記録手段の構成によるものである。

9) 本発明の端末装置は、

前記コンテンツ配信装置によって配信されたコンテンツを受信することを特徴としている。

13) 宣伝広告機能が付加されたコンテンツを作成するコンテンツ作成方法であって、

前記コンテンツは、

アーティストのプロモーション映像とされており、

前記プロモーション映像に対し、商品またはサービスに関する広告映像を含めることによって前記コンテンツを作成すること、  
を特徴としている。

ここで、前記プロモーション映像は、出演するアーティスト等に興味がある視聴者によって視聴選択される傾向が強いため、その視聴者は、その映像に含まれる前記広告映像に対しても十分な興味を抱く可能性が高い。したがって、本発明の前記コンテンツ作成方法により、視聴者が前記広告映像を認識する可能性が高まることによって広告対象の宣伝広告効果を高めることができる。

14) プロダクトプレイスメントによって作成されたコンテンツに関する報酬分配方法であって、

前記コンテンツは、

アーティストのプロモーション映像と、当該プロモーション映像に対し商品またはサービスに関する広告映像を含めることによって作成されており、

前記コンテンツに関する報酬分配方法は、

前記コンテンツの視聴ログを取得し、

前記視聴ログに基づいて、前記広告映像の提供元が前記プロモーション映像の提供元に対して視聴報酬を支払うこと、

を特徴としている。

これにより、プロダクトプレイスメント（広告対象商品等を映画やTVに登場させる広告手法）における前記広告映像の提供元は、前記視聴ログに基づいて算出される視聴報酬を前記プロモーション映像の提供元に支払うのであるから、実績・成果に対応した明確な取引を行うことができる。

用語の定義について説明する。

この発明において、

この発明において、「コンテンツ」とは、静止画、または動画等の映像情報、または音声情報、または映像情報と音声情報との結合情報等の内容であって、テレビ放送、またはデジタル放送、または蓄積型放送、またはインターネットによる配信（ADSLやケーブルTVによるインターネット接続の利用を含む）等の手段によって所定の単位で提供されるものを含む概念である。例えば、comm

ercial message (CM)、または広告、または映画、またはショートムービー、またはドラマ、またはプロモーションビデオ、または演劇やスポーツなどのライブ中継またはビデオ録画中継、または学習講座の放送など、デジタル技術などを利用して提供される情報が、この「コンテンツ」の概念に含まれる。

本発明の特徴は、上記のように広く示すことができるが、その構成や内容は、それらの特徴および効果とともに図面を考慮に入れた上で、以下の開示によりさらに明らかになるであろう。

## 10 図面の簡単な説明

図1は、PVad（プロモーションビデオ・アドバタイズメント）サービスシステムの概略図である。

図2は、ユーザPCのブロック図である。

図3は、広告主PCのブロック図である。

15 図4は、PVadサービスサーバのブロック図である。

図5は、PVadデータベースの構成を示す図である。

図6は、PVad視聴カウンタデータベースの構成を示す図である。

図7は、PVad配信サービスのフローチャートである。

図8Aは、メインメニュー画面例である。

20 図8Bは、PVad画面例である。

図9は、PVad視聴データサービスのフローチャートである。

図10Aは、ID/パスワード入力画面例である。

図10Bは、ID/パスワード確認画面例である。

図11A、図11B、図11Cは、広告主用視聴データ画面例である。

25 図12は、レコード会社用視聴データ画面例である。

図13は、PVadサービスシステムのシステム図である。

## 発明を実施するための最良の形態

本発明に係るコンテンツ配信装置の実施形態を説明する。実施形態では、コン



テンツとしてプロモーションビデオ（以下、P Vとする）を例示して説明する。

P Vは、一般的には、アーティストが視聴者に楽曲を宣伝するために制作されるものである。また、実施形態におけるP Vは、プロモーションビデオ映像中に広告映像を含むことを特徴としている。そのようなP Vの具体例として、例えば、  
5 そのプロモーションビデオに出演するアーティストが、楽曲演奏中に広告対象となる飲料水を飲む映像が含まれたプロモーションビデオ映像を挙げることができる。このようなコンテンツにより、広告対象の宣伝広告効果が著しく高まることが予想される。なぜならば、P Vは、特定のアーティストに興味があるユーザによって視聴選択される傾向が強いため、そのユーザは、P Vの映像中に現れる広  
10 告対象の商品またはサービスに関心を持つ可能性が高まることが予想されるからである。したがって、本実施形態では、より宣伝広告効果の高いコンテンツの制作手法を提供することを一つの目的としている。以下、実施形態で説明するコンテンツを、P V a d（p r o m o t i o n v i d e o / a d v e r t i s e m e n t の略称）として説明する。さらに、本実施形態では、そのようなコンテンツの配信を効果的に管理するW e b技術を提供することを一つの目的としている。  
15

本実施形態は、コンテンツ配信装置としてのP V a dサービスサーバが、ユーザP Cに対してP V a dの配信サービスを行うP V a dサービスシステムを説明するものである。このシステムにおけるP V a dという従来にない新しいコンテンツによって、広告対象としている商品またはサービスの宣伝広告効果を高める  
20 ことができる。

以下、まず始めに、P V a dサービスシステムのシステム概要、装置等の構成、特許請求の範囲に記載した用語と実施形態との対応を説明し、次に、本実施形態による処理内容等の説明を行う。

## 目次

- 25 1. システム概要
- 2. 装置等の構成
- 3. 特許請求の範囲に記載した用語と実施形態との対応
- 4. システムの処理内容
- 4-1. P V a d 配信サービス

## 4-2. PVad視聴データサービス

## 5. 実施形態による効果

## 6. 本発明のその他の実施形態

-----

5

## -- 1. システム概要 --

図13は、PVadサービスシステム8の構成である。PVadサービスシステム8は、ユーザが使用するユーザPC（パーソナルコンピュータ）100、レコード会社が使用するレコード会社PC500、広告主が使用する広告主PC600、PVadサービスを行う事業主が管理するPVadサービスサーバ200で構成される。ユーザPC100、レコード会社PC500、広告主PC600、PVadサービスサーバ200のそれぞれは、インターネット2を介して互いに接続可能である。PVadサービスサーバ200は、PVadデータベース（以下、「DB」とする）300、PVad視聴カウンタDB400にアクセス可能である。なお、PVadサービスサーバ200は、インターネットサイト（ポータルサイト等）に置いてPVad配信サービス等を行うこととすればよい。

PVadDB300は、PVadデータ及びそのPVadの内容に関する情報を記録するためのものである。PVad視聴カウンタDB400は、ユーザに配信したPVadの視聴ログ（配信ログ）を記録するためのものである。

なお、PVadDB300、PVad視聴カウンタDB400のそれぞれは、PVadサービスサーバ200のハードディスクに直接記録するようにしてもよいし、あるいは、PVadサービスサーバ200とは別のサーバに記録するようにしてもよい。

## -- 2. 装置等の構成 --

図2は、CPUを用いて実現したユーザPC100のハードウェア構成の一例である。ユーザPC100は、CPU10、スピーカ11、ディスプレイ12、ハードディスク14、メモリ16、キーボード18、インターネット2に接続するための通信回路19を備えている。CPU10は、ユーザPC100全体を制御する。メモリ16は、CPU10のワーク領域等を提供する。ハードディスク

14は、CPU10動作させるためのプログラムや、ウェブを閲覧するためのブラウザプログラムを記録する。キーボード18の操作により生成される操作情報は、CPU10に入力され、CPU10が生成した画像情報および音声情報は、ディスプレイ12、スピーカ11にそれぞれ出力される。

- 5 図3は、CPUを用いて実現した広告主PC600のハードウェア構成の一例である。広告主PC600は、CPU60、スピーカ61、ディスプレイ62、ハードディスク64、メモリ66、キーボード68、インターネット2に接続するための通信回路69を備えている。それぞれのハードウェアの機能は、上記したユーザPC100の各ハードウェアと同様である。なお、レコード会社PC5  
10 00のハードウェア構成も、広告主PC600と同様である。

図4は、CPUを用いて実現したPVadサービスサーバ200のハードウェア構成の一例である。PVadサービスサーバ200は、CPU20、ハードディスク24、メモリ22、インターネット2に接続するための通信回路26を備えている。ハードディスク24は、PVadサービスプログラムを記録する。

- 15 本実施形態では、ユーザPC100、広告主PC600、PVadサービスサーバ200のそれぞれのオペレーティングシステム(OS)の例として、マイクロソフト社のWindows(登録商標)XP、NT、2000等を用いることとする。本実施形態のプログラムは、OSと共働して各機能を実現しているが、これに限らず、プログラム単独で各機能を実現するようにしてもよい。

- 20 図5は、PVadDB300の構成の一例である。PVadDB300には、PVadに関連する情報である“アーティスト名”、“曲名”及び、広告主がPVadに含める商品名やサービス名等を特定する“adアイテム名”と、PVadの内容を記録した“PVadデータ”が記録される。また、PVadDB300には、ヘッダ情報(コメント)として、Web上でPVadデータ(MPG形式など)を特定するURL(Uniform Resource Locator)、PVadを特定する識別子としての“PVad-ID”、アーティスト名  
25 および曲名を特定する識別子としての“PV-ID”、広告主およびadアイテム名を特定する識別子としての“ad-ID”が記録される。

具体的には、PV-IDの親番号(データ301では「kkw」)がアーティ

ストを特定する識別子（コンテンツ部分提供元指示情報）であり、子番号（データ301では「05」）が曲を特定する識別子である。一方、ad-IDの親番号（データ301では「CC」）が広告主を特定する識別子（広告部分提供元指示情報）であり、子番号（データ301では「JP」）がadアイテムを特定する識別子である。

このようなPVadDB300により、PVadは、PVad-IDによる特定だけではなく、PV-ID、あるいは、ad-IDという、PVadを構成する異なった要素によって独立に特定されることを特徴としている。PVadDB300には、PVad毎に、上記のようなデータ301、302、303等が設けられている。

なお、PVadDB300のデータ構成は上記のようなものに限らず、その他の構成を採用してもよい。例えば、PVadを特定する上記ヘッダ情報に対応するデータ（PVad-IDなど）のみをテーブルデータとして設け、PVadデータのみを別のデータベースに記録する。この場合、テーブルデータの各情報は、リンク情報によってPVadデータと関連づけておくようにすればよい。

図6は、PVad視聴カウンタDB400の構成の一例である。PVad視聴カウンタDB400には、PVadを特定する識別子としての“PVad-ID”、アーティスト名および曲名を特定する識別子としての“PV-ID”、広告主およびadアイテム名を特定する識別子としての“ad-ID”、PVadを配信したユーザを特定する“アドレス”、そのユーザからの“アクセス日時”が記録される。各IDの親番号と子番号との関係は、図5と同様である。PVad視聴カウンタDB400には、PVad毎に、上記のようなデータ401、402、403等が設けられている。

### ―― 3. 特許請求の範囲に記載した用語と実施形態との対応――

特許請求の範囲に記載した用語と実施形態との対応は、以下のとおりである。

「コンテンツ」は、PVadサービスサーバ200がユーザPCに対して配信するPVadに対応する。「コンテンツ部分」は、PVadにおけるプロモーションビデオ映像に対応し、「広告部分」は、PVadにおける広告映像に対応する。「コンテンツ配信装置」は、図13のPVadサービスサーバ200に対応

する。「ネットワーク」は、図13のインターネット2に対応する。

「コンテンツ部分指示情報」は、図5のPVadDB300に記録されるPV  
-IDに対応し、「広告部分指示情報」は、図5のPVadDB300に記録さ  
れるad-IDに対応する。「コンテンツ記録手段」は、PVadをPVadD  
5 B300に記録する処理を行うPVadサービスサーバ200のCPU20に対  
応する。「コンテンツ配信手段」は、PVadを送信する処理（図7ステップS  
756参照）を行うCPU20に対応する。

「配信履歴データ記録手段」は、PVadの視聴ログをPVad視聴カウンタ  
DB400に記録する処理（図7ステップS758）を行うCPU20に対応し、  
10 「配信履歴データ」は、図7ステップS758でCPU20がPVad視聴カウ  
ンタDB400に記録するデータに対応する。

「コンテンツ部分用配信履歴データ抽出出力手段」は、レコード会社PC50  
0用に視聴データをカスタマイズして送信する処理を行うCPU20に対応し、  
「コンテンツ部分用配信履歴データ」は、図12に示すレコード会社用視聴デー  
15 タに対応する。「広告部分用配信履歴データ抽出出力手段」は、広告主PC60  
0用に視聴データをカスタマイズして送信する処理（図9ステップS954、S  
956参照）を行うCPU20に対応し、「コンテンツ部分用配信履歴データ」  
は、図11に示す広告主用視聴データに対応する。

「コンテンツ部分指示情報記録部」は、図5に示すPVadDB300におけ  
20 るPV-IDを記録するカラムに対応し、「広告部分指示情報記録部」は、PV  
adDB300におけるad-IDを記録するカラムに対応し、「コンテンツ指  
示情報記録部」は、PVadDB300におけるPVad-IDを記録するカラ  
ムに対応する。

「端末装置」は、ユーザPC100に対応する。

#### 25 ー 4. システムの処理内容ー

本システムのPVadサービスの概要を、図1を参照しながら説明する。

ユーザPC100は、ユーザの操作に応じてPVadサービスサーバ200に  
アクセスし、PVadの配信を要求する（1）。PVadサービスサーバ200  
は、要求されたPVadをユーザPC100に配信する（2）。PVadは、プ



ロモーションビデオ映像に含まれるアーティストおよび楽曲を特定するP V - I Dと、プロモーションビデオ映像に含まれる広告対象である商品またはサービスを特定するa d - I Dとに対応づけて記録されている。P V a dサービスサーバ200は、その配信ログをP V a d視聴カウンタDB400に記録する(3)。

- 5 配信ログとして、P V a d毎にアクセス日時等が記録される。以上までの処理が、後述するP V a d配信サービスの概要である。

次に、P V a d視聴データサービスの処理の概要を説明する。この視聴データサービスは、広告主やレコード会社が、制作したP V a dの視聴数に関するデータを知ることができるようにするためのものである。広告主P C 600は、操作  
10 者の操作に応じてP V a dサービスサーバ200にアクセスし、視聴データを要求する(4)。P V a dサービスサーバ200は、P V a d視聴カウンタDB400に記録されたデータから、a d - I Dに基づいて視聴ログを抽出する(5)。すなわち、この処理により、アクセスのあった広告主に関連する視聴ログのみが選択的に抽出されることになる。次に、P V a dサービスサーバ200は、その  
15 抽出した視聴ログを広告主視聴データとして広告主P C 600に送信する(6)。

このように、本システムでは、宣伝広告効果の高いP V a dをユーザに配信するとともに、そのP V a dの制作にかかわったレコード会社および広告主が、そのP V a dの視聴データを取得することができる。

以下、上述した処理の詳細を、P V a d配信サービス、P V a d視聴データサービス  
20 サービスの各段階に分けて説明する。

#### 4-1. P V a d配信サービス

P V a d配信サービスは、P V a dサービスサーバ200が、ユーザによって操作されるユーザP C 100からの要求に応じてP V a dを配信することを内容とするものである。以下、このP V a d配信サービスの処理内容を図7のフロー  
25 チャートにしたがって説明する。

ユーザP C 100のCPU10は、P V a dサービスサーバにアクセスした後、ユーザの操作に応じてP V a dサービスサーバ200にメインメニュー要求を送信する(図7ステップS701)。P V a dサービスサーバ200のCPU20は、ユーザP C 100からメインメニュー要求があるか否かを判断し(ステップ

S 7 5 0)、要求がと判断すれば、メインメニュー画面データを送信する  
(ステップS 7 5 2)。ユーザP C 1 0 0のC P U 1 0は、メインメニュー画面  
データを受信したか否かを判断し(ステップS 7 0 3)、受信したと判断すれば  
そのメインメニュー画面データに基づいてメインメニューをディスプレイ1 2に  
5 表示する(ステップS 7 0 5)。図8 Aは、メインメニュー画面例を示す。図8  
Aに示すように、メインメニューには、アーティスト名、曲名によって特定され  
るP V a dリスト等が表示される。

ユーザP C 1 0 0のC P U 1 0は、ユーザの操作によってP V a d視聴要求が  
選択したか否かを判断する(ステップS 7 0 7)。このP V a d視聴要求は、図  
10 8 Aのメインメニュー中の” P L A Y ” ボタンをクリックすることによって行わ  
れる。具体的には、C P U 1 0は、クリック動作を介してP V a dデータのU R  
L (図5 参照) へのリンクを行う。C P U 1 0は、P V a d視聴要求が選択され  
たと判断すれば、その視聴要求データをP V a dサービスサーバ2 0 0に送信す  
る(ステップS 7 0 9)。視聴要求データは、図5に示すP V a d D B 3 0 0に  
15 おけるP V a dを特定するデータであり、具体的には、P V a dデータのU R L  
を含むデータである。P V a dサービスサーバ2 0 0のC P U 2 0は、ユーザP  
C 1 0 0から視聴要求データを受信したか否かを判断し(ステップS 7 5 4)、  
受信したと判断すれば、その視聴要求データに基づいて、ユーザによって選択さ  
れたP V a dデータをユーザP C 1 0 0に送信する(ステップS 7 5 6)。

20 ユーザP C 1 0 0のC P U 1 0は、P V a dサービスサーバ2 0 0からP V a  
dデータを受信したか否かを判断し(ステップS 7 1 1)、受信したと判断すれ  
ば、そのP V a dデータに基づいてP V a dを再生し(ステップS 7 1 3)、再  
生終了後に処理を終了する。図8 Bは、選択されたP V a dを再生中の画面例で  
ある。P V a dサービスサーバ2 0 0のC P U 2 0は、ステップS 7 5 6の処理  
25 の後、送信したP V a dデータに基づいて、視聴ログをP V a d視聴カウンタD  
B 4 0 0に記録して(ステップS 7 5 8)、処理を終了する。

図6は、P V a d視聴カウンタD B 4 0 0の構成例を示す。図に示すように、  
P V a d視聴カウンタD B 4 0 0には、P V a d毎に、P V a dを特定するP V  
a d - I D、アーティストおよび楽曲を特定するP V - I D、広告対象を特定す

る a d - I D があらかじめ記録されている。そして、C P U 2 0 は、ステップ S 7 5 6 における P V a d データの送信がある度に、視聴ログとして、P V a d データの送信先となったユーザ P C 1 0 0 のアドレスとユーザ P C 1 0 0 からのアクセス日時とを P V a d 視聴カウンタ D B 4 0 0 に記録する。

5      4 - 2 . P V a d 視聴データサービス

以上の処理により、P V a d 配信サービスが継続して行われると、P V a d 視聴カウンタ D B 4 0 0 には複数の視聴ログが記録される。P V a d 視聴データサービスは、クライアントの要求に応じて P V a d サービスサーバ 2 0 0 がその視聴ログを公開するサービスである。以下、この P V a d 視聴データサービスの処理内容を図 9 のフローチャートにしたがって説明する。なお、図 9 のフローチャートは、クライアントとして広告主 P C 6 0 0 を例示して説明するが、後述する視聴データの内容を除き、クライアントがレコード会社 P C 5 0 0 の場合であっても処理内容は同様である。

15      広告主 P C 6 0 0 の C P U 6 0 は、P V a d サービスサーバ 2 0 0 にアクセスしてディスプレイ 6 2 にメインメニュー（図 8 A 参照）を表示する（ステップ S 9 0 1）。C P U 6 0 は、操作者（例えば、広告制作責任者等）から視聴データの要求が選択されたか否かを判断する（ステップ S 9 0 3）。この視聴データ要求は、図 8 A に示すメインメニュー中の”視聴データ” ボタンをクリックすることによって行われる。C P U 6 0 は、ステップ S 9 0 3 で視聴データ要求が選択されたと判断すれば、視聴データ要求情報を P V a d サービスサーバ 2 0 0 に送信する（ステップ S 9 0 5）。P V a d サービスサーバ 2 0 0 の C P U 2 0 は、その視聴データ要求情報を受信して、I D / パスワード要求情報を送信する（ステップ S 9 5 0）。

25      広告主 P C 6 0 0 の C P U 6 0 は、その I D / パスワード要求情報を受信して、その情報に基づいて I D / パスワード入力画面をディスプレイ 6 2 に表示する

（ステップ S 9 0 7）。図 1 0 A は、I D / パスワード入力画面を示す。C P U 6 0 は、操作者の操作によって I D / パスワードが入力されたか否かを判断し

（ステップ S 9 0 8）、入力されたと判断すれば、その I D / パスワードデータを P V a d サービスサーバ 2 0 0 に送信する（ステップ S 9 0 9）。P V a d サ

ービスサーバ200のCPU20は、そのID/パスワードを受信して、クライアント認証がされるか否かを判断する（ステップS952）。このクライアント認証は、あらかじめPVadサービスサーバ200のハードディスク24に記録された広告主PC600毎のID/パスワードと、送信されたID/パスワードと  
5 が合致するか否かを判断するようにすればよい。

PVadサービスサーバ200のCPU20は、クライアント認証がされたと判断すれば、認証確認およびadアイテム名要求情報を広告主PC600に送信する（ステップS953）。広告主PC600のCPU60は、その情報を受信して、adアイテム名入力画面をディスプレイ62に表示する（ステップS91  
10 0）。図10Bは、adアイテム名入力画面の表示例である。

CPU60は、ユーザによってadアイテム名の入力されたか否かを判断し（ステップS911）、入力されたと判断した場合には、adアイテム名をPVadサービスサーバ200に対して送信する（ステップS912）。CPU60によるadアイテム名の入力の有無の判断は、ユーザによって、図10Bに示す  
15 ”送信” ボタンのクリックがされたか否かに基づいて判断すればよい。

PVadサービスサーバ200のCPU20は、adアイテム名を受信して、視聴データを要求している広告主PC600用に視聴データをカスタマイズし（ステップS954）、そのカスタマイズした視聴データを広告主PC600に送信して処理を終了する（ステップS956）。広告主PC600のCPU60  
20 は、受信した視聴データをディスプレイ62に表示して処理を終了する（ステップS913）。なお、CPU20は、ステップS952においてクライアント認証がされなかった場合には、所定回数のID/パスワードデータの送信を限度として、クライアント認証がされない旨のエラーメッセージを送信するようにしてもよい。

図11に示す視聴データを広告主PC600用にカスタマイズする処理（ステップS954）は、CPU20が、図6に示すPVad視聴カウンタDB400を参照して特定のadアイテム名（またはad-ID）を有するデータを抽出し、それらのデータに記録されたアクセス日時およびそのカウント数に基づいて集計  
25 処理を行うようにすればよい。



具体的には、CPU20は、図9ステップS912の処理によって送信される  
adアイテム名を受信し、PVad視聴カウンタDB400を検索して、そのa  
dアイテム名（例えば、「ドリンクZ」）を記録したデータ（図6では、データ  
401）を抽出する。そして、CPU20は、そのデータ401に記録されたア  
クセス日時およびその回数（カウント数）を算出し、広告主PC600によって  
5 要求された視聴データを取得する。

図11は、広告主PC600のためにカスタマイズされた視聴データの画面例  
である。図11Aは、広告主PC600を操作する広告主が、ある商品広告を提  
供しているPVadについての視聴データである。ここでは、この広告主は、ア  
ーティスト名”ABCバンド”の”Love Pops”という曲のPVに、ad  
10 アイテム名”ドリンクZ”の広告を提供している。そして、広告主PC600は、  
図11Aに示すように、そのPVadに関する視聴数を確認することができる。  
図11Bは、図11Aに示す画面中の”時間帯別アクセス”ボタンをクリックす  
ることによって表示される、図11Aの視聴数を時間帯別に分けて集計した視聴  
15 データの画面である。また、図11Cは、広告主がadアイテム名”ドリンクZ  
”の提供を、複数のPVに対して行っている場合の視聴データの画面例である。

ここで、adアイテムが複数のPVに提供されている場合とは、具体的には、  
PVadDB300に同一のad-IDで特定されるPVadが複数記録されて  
いる状態をいう。このような状態が生ずるのは、実施形態におけるPVadは、  
20 アーティストの楽曲のプロモーション映像と、広告映像との組合せによって制作  
されるものであるからである。したがって、上記したような同一のad-IDに  
対して複数のPV-IDが対応づけられる場合の他に、同一のPV-IDに対し  
て複数のad-IDが対応づけられる場合、すなわち、あるアーティストの楽曲  
のプロモーション映像に対して、広告対象が異なる複数のPVadのバリエーシ  
25 ョンが制作される場合もありうる（例えば、同一のPV-IDを有する図6のデ  
ータ401およびデータ403参照）。さらに、1のプロモーション映像に対し  
て1の広告対象を含める場合だけでなく、1のプロモーション映像に対して複数  
の広告対象を含めてPVadを制作するようにしてもよい。

図12は、レコード会社PC500のためにカスタマイズされた視聴データの



画面例である。レコード会社PC500の場合も、PVadサービスサーバ200は、図9に示すPVad視聴データサービスの処理と同様の処理を行う。ここでは、このレコード会社は、アーティスト名”ABCバンド”の”Love Pops”という曲のPVadについての視聴数を確認することができる。なお、この場合の、視聴データをレコード会社PC500用にカスタマイズする処理は、CPU20が、図6に示すPVad視聴カウンタDB400を参照して特定の曲名（またはアーティスト名、またはPV-ID）を有するデータを抽出し、それらのデータに記録されたアクセス日時およびそのカウント数に基づいて集計処理を行うようにすればよい。

10 具体的には、図9ステップS912の処理によって、レコード会社PC500のCPUは、（adアイテム名に替えて）「曲名」を送信するようにする。そして、PVadサービスサーバ200のCPU20は、PVad視聴カウンタDB400を検索して、その曲名（例えば、「LOVE POPS」）を記録したデータ（図6では、データ401およびデータ403）を抽出する。CPU20は、そのデータ401に記録されたアクセス日時およびその回数（カウント数）を算出、レコード会社PC500によって要求された視聴データを取得する。

上記実施形態のカスタマイズ処理（図9ステップS954）は、adアイテム名または曲名を基準にした視聴データを取得することとしているが、これに限られるものではない。その他の実施形態として、広告主またはアーティスト名を基準にした視聴データを取得するようにしてもよい。具体的には、広告主PC600は、図9ステップS912の処理において、（adアイテム名に替えて）ad-IDの親番号（すなわち広告主を特定する識別子）を送信するようにする。そして、PVadサービスサーバ200のCPU20は、PVad視聴カウンタDB400を検索して、そのad-IDの親番号（例えば、「CC」）を記録したデータ（図6では、データ401およびデータ402）を抽出する。CPU20は、そのデータ401および402に記録されたアクセス日時およびその回数（カウント数）を算出し、広告主600によって要求された視聴データを取得する。この処理により、特定の広告主が提供する全てのadアイテムに関する視聴データを取得することができる。

この発明は、ステップ S 9 5 4 の処理が示すように、2つ以上の異なるパラメータによって定義されるデータの配信ログを、各パラメータを基準とした個別の配信ログとして取得する技術を含む。より具体的には、異なるパラメータによって定義されるデータに対して、それらのパラメータを含めた情報をヘッダ情報

5 (P V - I D および a d - I D) として記録しておく。そして、データの配信が行われる毎に、各パラメータを基準とした個別の配信ログ（広告主 P C 6 0 0 用または、レコード会社 P C 5 0 0 用にカスタマイズされた視聴データ）を、そのヘッダ情報を利用して効果的に記録する技術を含んでいる。

#### ー 5 . 実施形態による効果ー

10 実施形態では、P V a d の配信を受けるユーザは、自己の興味のあるプロモーション映像を視聴しつつ、そのプロモーション映像に含まれる広告映像を充分認識することになる。なぜならば、プロモーション映像は、出演するアーティストに興味があるユーザによって視聴選択される傾向が強い性質を持つのが一般的であるから、そのユーザは、その映像に含まれる広告映像に対しても十分な興味を抱く可能性が高いからである。したがって、実施形態による P V a d により、15 広告映像の対象となる商品またはサービスの宣伝広告効果を高めることができ、広告主は、その商品等の販売促進効果を高めることができる。

実施形態では、異なるパラメータによって定義されるデータに対して、それらのパラメータを含めた情報をヘッダ情報 (P V - I D および a d - I D) として20 記録している。これにより、実施形態は、各パラメータを基準とした個別の配信ログ（広告主 P C 6 0 0 用または、レコード会社 P C 5 0 0 用にカスタマイズされた視聴データ）を、そのヘッダ情報を利用して効果的に記録する W e b 技術を提供している。

ここで、従来のプロモーション映像のテレビ放送またはインターネット配信において、25 広告主は、C M 放送やバナー広告等を利用して商品等の宣伝広告を行っている。しかしながら、それらの C M 放送やバナー広告は、プロモーション映像とは切り離された独立の広告情報である。したがって、プロモーション映像に関心のあるユーザが、必ずしもそれらの独立した広告情報に対して接触あるいは認識するとは限らない。この点、実施形態による P V a d によれば、プロモーシ

ョン映像中に広告映像が含まれているため、そのプロモーション映像に関心のあるユーザは、より積極的にその広告映像の広告対象を認識することになる。なお、より一層宣伝広告機能が高めるため、P V a d に出演するアーティストが広告対象の商品またはサービスを積極的に利用等しているシーンを広告映像とするのが好ましい。

実施形態では、P V a d 視聴カウンタ D B 4 0 0 には、アーティストおよびその楽曲を特定する P V - I D、広告対象を特定する a d - I D の 2 種類の I D によって視聴ログが記録される（図 6 参照）。これにより、複数の P V a d が配信される場合にも、あるアーティストおよび楽曲のプロモーションビデオを含む P V a d の配信履歴の結果はどうであるか、あるいは、ある広告対象の広告映像を含む P V a d の配信履歴の結果はどうであるか、という別々の基準に基づいて配信ログを記録することができる。したがって、プロモーション映像の制作に関するレコード会社、および広告映像の制作に関する広告主は、それぞれ、視聴ログの中から必要なデータを簡易に取得することができる。

実施形態では、P V a d サービスサーバ 2 0 0 は、視聴データサービス処理において、アクセスしてきたクライアント（広告主 P C 6 0 0 またはレコード会社 P C 5 0 0）について、I D / パスワードに基づいてクライアント認証し（図 9 ステップ S 9 5 2 参照）、そのクライアント用の視聴データのみを送信することとしている（図 9 ステップ S 9 5 4、S 9 5 6 参照）。これにより、P V a d サービスサーバ 2 0 0 は、不必要な視聴データをクライアントに送信しないという効果がある。したがって、各クライアントの視聴データに関する営業秘密を確実に保護することができる。このように、クライアント毎に視聴データのアクセス制限をすることができるのは、P V a d というコンテンツを、その各構成要素を指示する P V - I D および a d - I D という 2 種類の I D によって特定する、という本発明独自のコンテンツの特定方法によるものである。なお、P V a d サービスの運営上、クライアント毎に視聴データをカスタマイズする必要性がなければ図 9 ステップ S 9 5 4 の処理を省略してもよいし、その他、視聴データのアクセス制限をする必要性がなければ、I D / パスワードによるクライアント認証処理（図 9 ステップ S 9 5 0、9 0 7、S 9 0 9、S 9 1 1、S 9 5 2）を省略して

もよい。

また、クライアントは、視聴データサービスによって視聴ログを取得することができるため、その視聴ログを基準にすることによって広告主またはレコード会社について発生する費用の決定が容易になる。例えば、あらかじめ広告主とレコード会社との間で視聴単価（例えば、一視聴ログ数に対する金額）を設定しておき、広告主は、その視聴単価に視聴ログ数を乗じた金額を、達成視聴ログ報酬としてレコード会社に支払うこととする（特許請求の範囲の「視聴ログに基づいて、前記広告映像の提供元が前記プロモーション映像の提供元に対して視聴報酬を支払う」に対応）。このような費用決定手法により、レコード会社としては、より  
10 視聴ログを多く獲得できるP V a dを作成することとなり、一方、広告主としては、自社の商品等を効果的に宣伝するためにそのようなP V a dを作成するレコード会社を選択することが期待される。したがって、より多くの広告主に選択されるレコード会社は、より多くの達成視聴ログ報酬を得ることができ、結果的に質の高いP V a dが作成され、かつ、商品等の宣伝広告機能も向上するという  
15 経済的な効果も生ずることが期待される。いずれにしても、このような効果が生ずるのは、クライアントが視聴データサービスによって視聴ログを取得することができるという実施形態独自の構成によるものである。

また、クライアントは、視聴データサービスによって取得した視聴データによってプロモーション映像や広告映像に関する視聴者の評価レベル（視聴率等）を  
20 解析することができる。したがって、クライアントは、ユーザ評価レベルの高いP V a dの制作戦略について、視聴データを利用することができる。特に、図11 Bに示す広告主用視聴データのように時間帯別アクセス数を取得できるとすると、各クライアントは、より詳細な視聴者の評価レベルを得ることができる。

さらに、視聴ログをP V a d視聴カウンタD B 4 0 0に記録する際に、P V a  
25 dサービスサーバ2 0 0のC P U 2 0が、ユーザの性別、年齢、住所、職業等のプロフィールを記録しておくようにすれば、視聴データサービスで提供する視聴データをより詳細に構成することも可能である。具体的には、例えば、広告対象としてP V a dに含めた商品の宣伝ターゲット年齢層が絞られている場合に、視聴ログ数からそのターゲット年齢層のみを抽出して解析することで、制作したP



V a dの評価を精度で行うことができる。これにより、P V a dを利用した効果的なマーケティング活動を行うことができる。なお、ユーザのプロファイルの記録は、ユーザがP V a d配信サービスの提供を受ける際に、あらかじめユーザ登録によって上記プロファイルの入力を要求するようにすればよい。

- 5      その他、P V a dサービスサーバ200のCPU20は、広告主PC600等からの要求に応じて視聴データを送信する場合に限らず、P V a d視聴カウンタDB400を参照して、所定の視聴カウント毎、あるいは所定の期間毎に視聴データを送信（例えばメール送信など）するようにしてもよい。

―― 6. 本発明のその他の実施形態――

10      6-1. システム構成のバリエーション

実施形態では、ユーザ端末としてユーザPC100を例示したが、これに限られるものではなく、Personal Digital Assistant (PDA) や携帯電話等のその他の機器を利用してもよい。

- 15      実施形態では、P V a dサービスサーバ200が、視聴ログをP V a d視聴カウンタDB400に記録することとしているが（図7ステップS758参照）、これに限らず、視聴ログを記録するサーバ（特許請求の範囲の「コンテンツ配信履歴記録装置」に対応する）を別に備えるようにしてもよい。この場合、その視聴ログを記録するサーバは、P V a dを配信した情報（P V a d-ID、P V-ID、a d-ID、アクセス日時に関する情報等）をインターネット上で取得できるようにすればよい。
- 20

実施形態では、P V a dサービスの運営としてインターネットを利用した例によって説明したが、これに限らず、蓄積型放送、HD放送、双方向データ放送等を利用して取得するようにすればよい。

25      6-2. プログラム実行方法等

実施形態では、ユーザPC100のCPU10、P V a dサービスサーバ200のCPU20、広告主PC600のCPU60の動作のためのプログラムを、それぞれ、ハードディスク14、ハードディスク24、ハードディスク64に記憶させているが、それらのプログラムは、プログラムが記憶されたCD-ROM



から読み出してインストールすればよい。また、CD-ROM以外に、フレキシブルディスク（FD）、ICカード等の、プログラムをコンピュータ可読の記録媒体からインストールさせるようにしてもよい。さらに、通信回線を用いてプログラムをダウンロードするようにすることもできる。また、CD-ROMからプログラムをインストールすることにより、CD-ROMに記憶させたプログラムを間接的にコンピュータに実行させるのではなく、CD-ROMに記憶させたプログラムを直接的に実行するようにしてもよい。

なお、コンピュータによって、実行可能なプログラムとしては、そのままのインストールするだけで直接実行可能なものはもちろん、一旦他の形態等に変換が必要なもの（例えば、データ圧縮されているものを解凍する等）、さらには、他のモジュール部分と組合して実行可能なものも含む。

上記実施形態では、各処理をCPUおよびプログラムによって実現することとしているが、各機能の一部または全部をハードウェアロジック（論理回路）によって構成してもよい。

#### 6-3. P V a d マッチングシステムの運営手法のバリエーション

本実施形態によるP V a d サービスシステム8は、レコード会社が使用するレコード会社P C 5 0 0、広告主が使用する広告主P C 6 0 0、P V a d サービスを行う事業主が管理するP V a d サービスサーバ2 0 0、ユーザが使用するユーザP C 1 0 0で構成される例を示したが、これに限られるものではない。

その他の実施形態として、本発明の「プロモーション映像」としてのプロモーションビデオに換えて、映画、またはドラマを採用した場合を説明する。この場合、実施形態における「レコード会社P C 5 0 0」は、映画会社、またはタレント事務所などが管理する。また、本発明の「アーティスト」として、俳優、またはタレントなどが該当することになる。

以上、本発明の概要および本発明の好適な実施形態を説明したが、各用語は、限定のために用いたのではなく説明のために用いたのであって、本発明に関連する技術分野の当業者は、本発明の説明の範囲内でのシステム、装置、及び方法のその他の変形を認め実行することができる。したがって、そのような変形は、本発明の範囲内に入るものとみなされる。

## 請求の範囲

1. ネットワークを通じてコンテンツを配信するコンテンツ配信装置であって、  
前記コンテンツは、  
5 コンテンツ部分と広告部分とを含むデータによって構成されており、  
前記コンテンツ配信装置は、  
前記コンテンツ部分に関する情報を示すコンテンツ部分指示情報および前記広告部分に関する情報を示す広告部分指示情報と対応づけて、前記コンテンツを記録するコンテンツ記録手段、  
10 前記コンテンツを配信するコンテンツ配信手段、  
を備えたコンテンツ配信装置。
2. コンピュータを、ネットワークを通じてコンテンツを配信するコンテンツ配信装置として機能させるための、コンピュータ読取可能なプログラムであって、  
15 前記コンテンツは、  
コンテンツ部分と広告部分とを含むデータによって構成されており、  
前記プログラムは、  
前記コンテンツ部分に関する情報を示すコンテンツ部分指示情報および前記広告部分に関する情報を示す広告部分指示情報と対応づけて、前記コンテンツを記録するコンテンツ記録手段、  
20 前記コンテンツを配信するコンテンツ配信手段、  
を備えたコンテンツ配信装置として機能させるためのプログラム。
3. 請求の範囲第1項または第2項に記載の前記コンテンツ配信装置、または  
25 プログラムにおいて、  
前記コンテンツ配信装置は、さらに、  
前記コンテンツ配信手段が前記コンテンツを配信する際に、前記コンテンツ部分指示情報および前記広告部分指示情報と対応づけて、その配信履歴に関する配信履歴データを記録する配信履歴データ記録手段、

を備えたことを特徴とするもの。

4. ネットワークを通じてコンテンツを配信するコンテンツ配信装置であって、  
前記コンテンツは、

5 コンテンツ部分と広告部分とを含むデータによって構成されており、  
前記コンテンツ配信装置のCPUは、

前記コンテンツ部分に関する情報を示すコンテンツ部分指示情報および前記広告部分に関する情報を示す広告部分指示情報と対応づけて、前記コンテンツを記録し、

10 前記コンテンツを配信し、

前記コンテンツを配信する際に、前記コンテンツ部分指示情報および前記広告部分指示情報と対応づけて、その配信履歴に関する配信履歴データを記録すること、

を特徴とするコンテンツ配信装置。

15

5. ネットワークを通じて配信されるコンテンツの配信の履歴を記録するコンテンツ配信履歴記録装置であって、

前記コンテンツは、

20 コンテンツ部分と広告部分とを含むデータによって構成され、さらに、前記コンテンツ部分に関する情報を示すコンテンツ部分指示情報および前記広告部分に関する情報を示す広告部分指示情報と対応づけて記録されており、

前記コンテンツ配信履歴記録装置は、

25 前記コンテンツが配信されると、前記コンテンツ部分指示情報および前記広告部分指示情報と対応づけて、その配信履歴に関する配信履歴データを記録する配信履歴データ記録手段、

を備えたことを特徴とするコンテンツ配信履歴記録装置。

6. コンピュータを、ネットワークを通じて配信されるコンテンツの配信の履歴を記録するコンテンツ配信履歴記録装置として機能させるための、コンピュー

タ読取可能なプログラムであって、

前記コンテンツは、

コンテンツ部分と広告部分とを含むデータによって構成され、さらに、前記コンテンツ部分に関する情報を示すコンテンツ部分指示情報および前記広告部分に関する情報を示す広告部分指示情報と対応づけて記録されており、

前記プログラムは、

前記コンテンツが配信されると、前記コンテンツ部分指示情報および前記広告部分指示情報と対応づけて、その配信履歴に関する配信履歴データを記録する配信履歴データ記録手段、

を備えたコンテンツ配信履歴記録装置として機能させるためのプログラム。

7. 請求の範囲第4項～第6項にいずれかに記載のコンテンツ配信履歴記録装置において、前記コンテンツ配信履歴記録装置は、さらに、

前記コンテンツ部分の提供元のユーザが、前記配信履歴データ記録手段に記録された配信履歴データの取得を要求した場合には、前記コンテンツ部分指示情報と対応づけて記録されている前記配信履歴データを、コンテンツ部分用配信履歴データとして抽出して前記コンテンツ部分の提供元のユーザに対して出力するコンテンツ部分用配信履歴データ抽出出力手段、

前記広告部分の提供元のユーザが、前記配信履歴データ記録手段に記録された配信履歴データの取得を要求した場合には、前記広告部分指示情報と対応づけて記録されている前記配信履歴データを、広告部分用配信履歴データとして抽出して前記広告部分の提供元のユーザに対して出力する広告部分用配信履歴データ抽出出力手段、

を備えたことを特徴とするもの。

25

8. ネットワークを通じて配信されるコンテンツの配信の履歴を記録するコンテンツ配信履歴記録装置であって、

前記コンテンツは、

コンテンツ部分と広告部分とを含むデータによって構成され、さらに、前記コ

ンテンツ部分に関する情報（前記コンテンツ部分指示情報）および前記広告部分に関する情報（前記広告部分指示情報）と対応づけて記録されており、

前記コンテンツ配信履歴記録装置のCPUは、

前記コンテンツが配信されると、前記コンテンツ部分指示情報および前記広告部分指示情報と対応づけて、その配信履歴に関する配信履歴データを記録し、

前記コンテンツ部分の提供元のユーザが、前記記録された配信履歴データの取得を要求した場合には、前記コンテンツ部分指示情報と対応づけて記録されている前記配信履歴データを、コンテンツ部分用配信履歴データとして抽出して前記コンテンツ部分の提供元のユーザに対して出力し、

前記広告部分の提供元のユーザが、前記記録された配信履歴データの取得を要求した場合には、前記広告部分指示情報と対応づけて記録されている前記配信履歴データを、広告部分用配信履歴データとして抽出して前記広告部分の提供元のユーザに対して出力すること、

を備えたことを特徴とするコンテンツ配信履歴記録装置。

15

9. 請求の範囲第1項、第3項、第4項のいずれかに記載のコンテンツ配信装置によって配信されたコンテンツを受信する端末装置。

10. コンテンツ部分と広告部分とを含むデータによって構成されたコンテンツを示すデータであって、

20

前記コンテンツ部分に関する情報（前記コンテンツ部分指示情報）を記録するコンテンツ部分指示情報記録部、

前記広告部分に関する情報（前記広告部分指示情報）を記録する広告部分指示情報記録部、

前記コンテンツ部分指示情報記録部および前記広告部分指示情報記録部と対応づけて、前記コンテンツを指示するコンテンツ指示情報を記録するコンテンツ指示情報記録部、

25

を備えたことを特徴とするデータ。



1 1. コンピュータ~~（A）~~を利用することにより、コンテンツを配信するコンテンツ  
配信方法であって、

前記コンテンツを、コンテンツ部分と広告部分とを含むデータによって構成し、  
前記コンテンツ部分に関する情報を示すコンテンツ部分指示情報および前記広  
告部分に関する情報を示す広告部分指示情報と対応づけて、前記コンテンツを記  
録し、

前記コンテンツを配信する際に、前記コンテンツ部分指示情報および前記広告  
部分指示情報と対応づけて、その配信履歴に関する配信履歴データを記録するこ  
と、  
10 を特徴とするコンテンツ配信方法。

1 2. コンピュータを利用することにより、コンテンツの配信履歴データを出  
力するコンテンツ配信履歴データ出力方法であって、

前記コンテンツを、コンテンツ部分と広告部分とを含むデータによって構成し、  
15 前記コンテンツを配信する際に、前記コンテンツ部分に関する情報を示すコン  
텐츠部分指示情報および前記広告部分に関する情報を示す広告部分指示情報と  
対応づけて、その配信履歴に関する配信履歴データを記録し、

前記コンテンツ部分の提供元のユーザが、前記配信履歴データの取得を要求し  
た場合には、前記コンテンツ部分指示情報と対応づけて記録されている前記配信  
履歴データを、コンテンツ部分用配信履歴データとして抽出して前記コンテンツ  
20 部分の提供元のユーザに対して出力し、

前記広告部分の提供元のユーザが、前記配信履歴記録手段に記録された配信履  
歴データの取得を要求した場合には、前記広告部分指示情報と対応づけて記録さ  
れている前記配信履歴データを、広告部分用配信履歴データとして抽出して前記  
25 広告部分の提供元のユーザに対して出力すること、

を特徴とするコンテンツ配信履歴データ出力方法。

1 3. 宣伝広告機能が付加されたコンテンツを作成するコンテンツ作成方法で  
あって、

前記コンテンツは

アーティストのプロモーション映像とされており、

前記プロモーション映像に対し、商品またはサービスに関する広告映像を含めることによって前記コンテンツを作成すること、

5      を特徴とするコンテンツ作成方法。

14.    プロダクトプレイスメントによって作成されたコンテンツに関する報酬分配方法であって、

前記コンテンツは、

10      アーティストのプロモーション映像と、当該プロモーション映像に対し商品またはサービスに関する広告映像を含めることによって作成されており、

前記コンテンツに関する報酬分配方法は、

前記コンテンツの視聴ログを取得し、

15      前記視聴ログに基づいて、前記広告映像の提供元が前記プロモーション映像の提供元に対して視聴報酬を支払うこと、

を含む報酬分配方法。

FIG.1

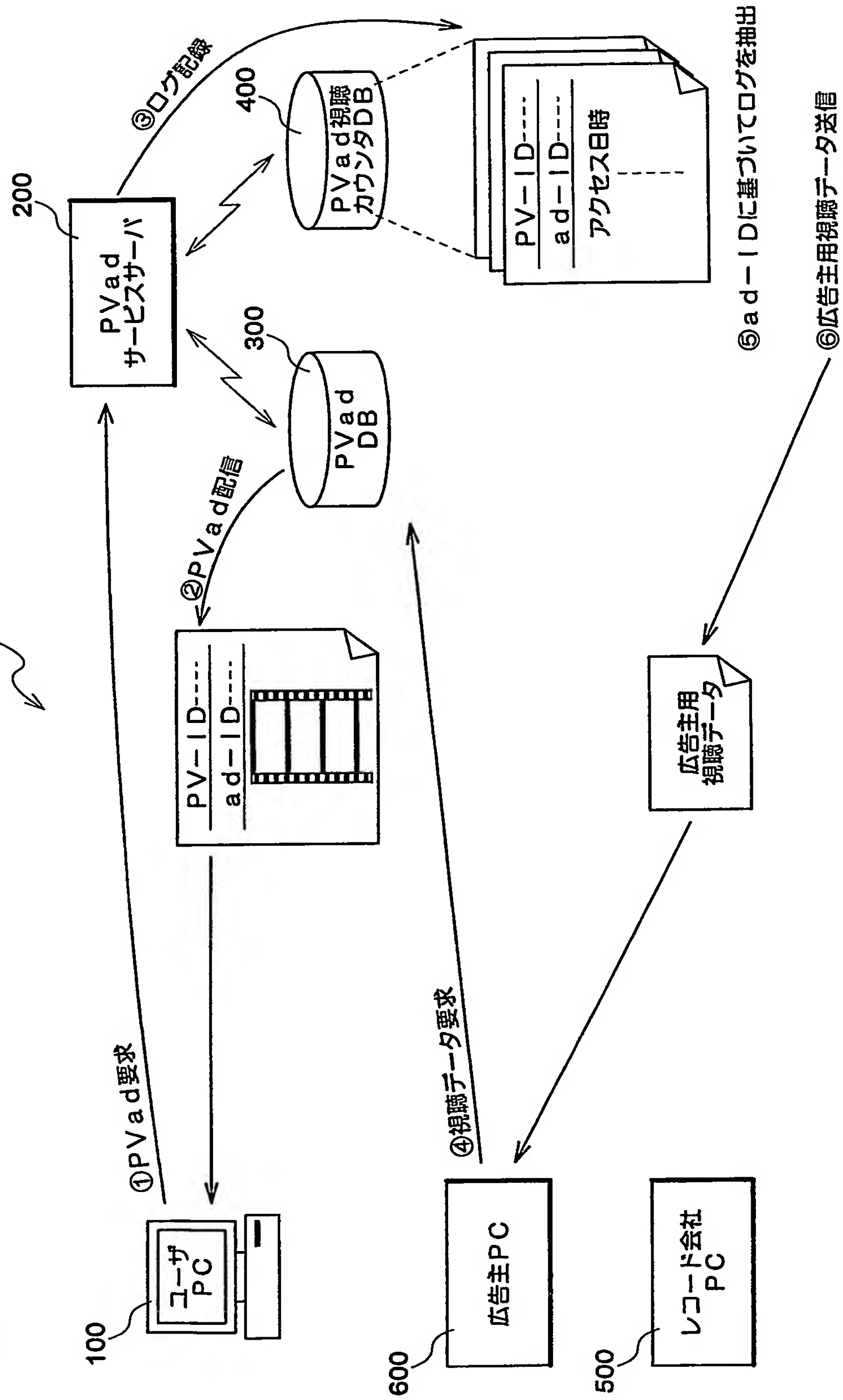


FIG.2

100:ユーザPC

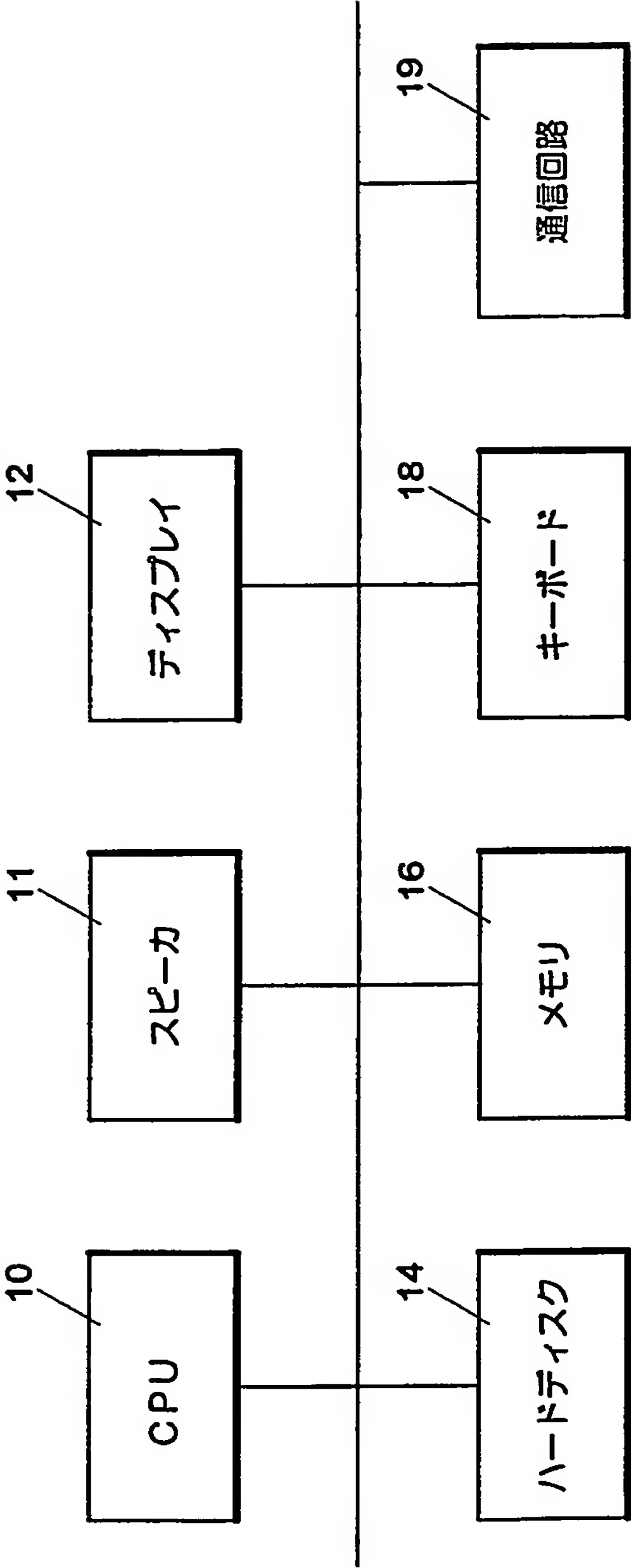


FIG.3

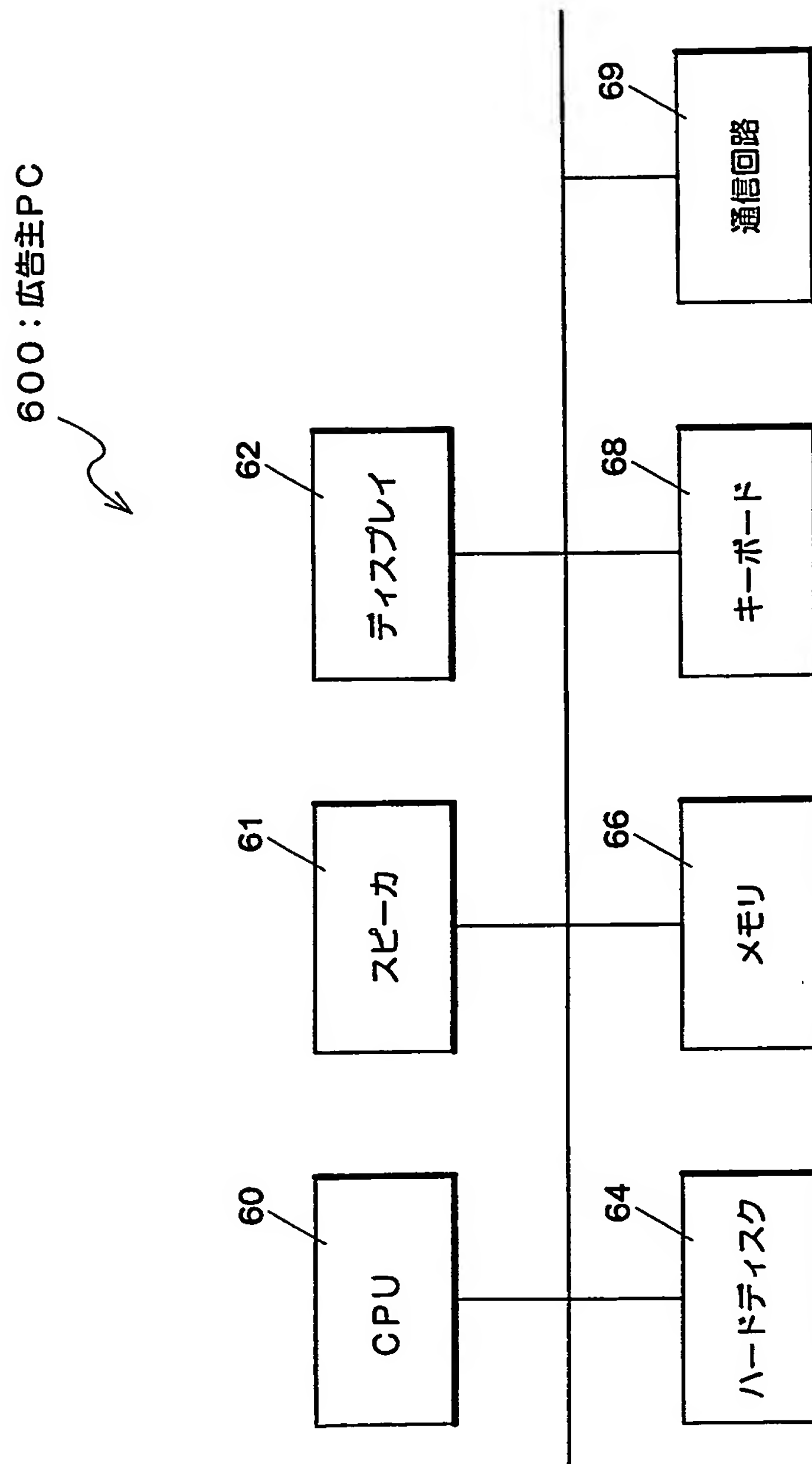




FIG.4

200:P V a d サービスサーバ

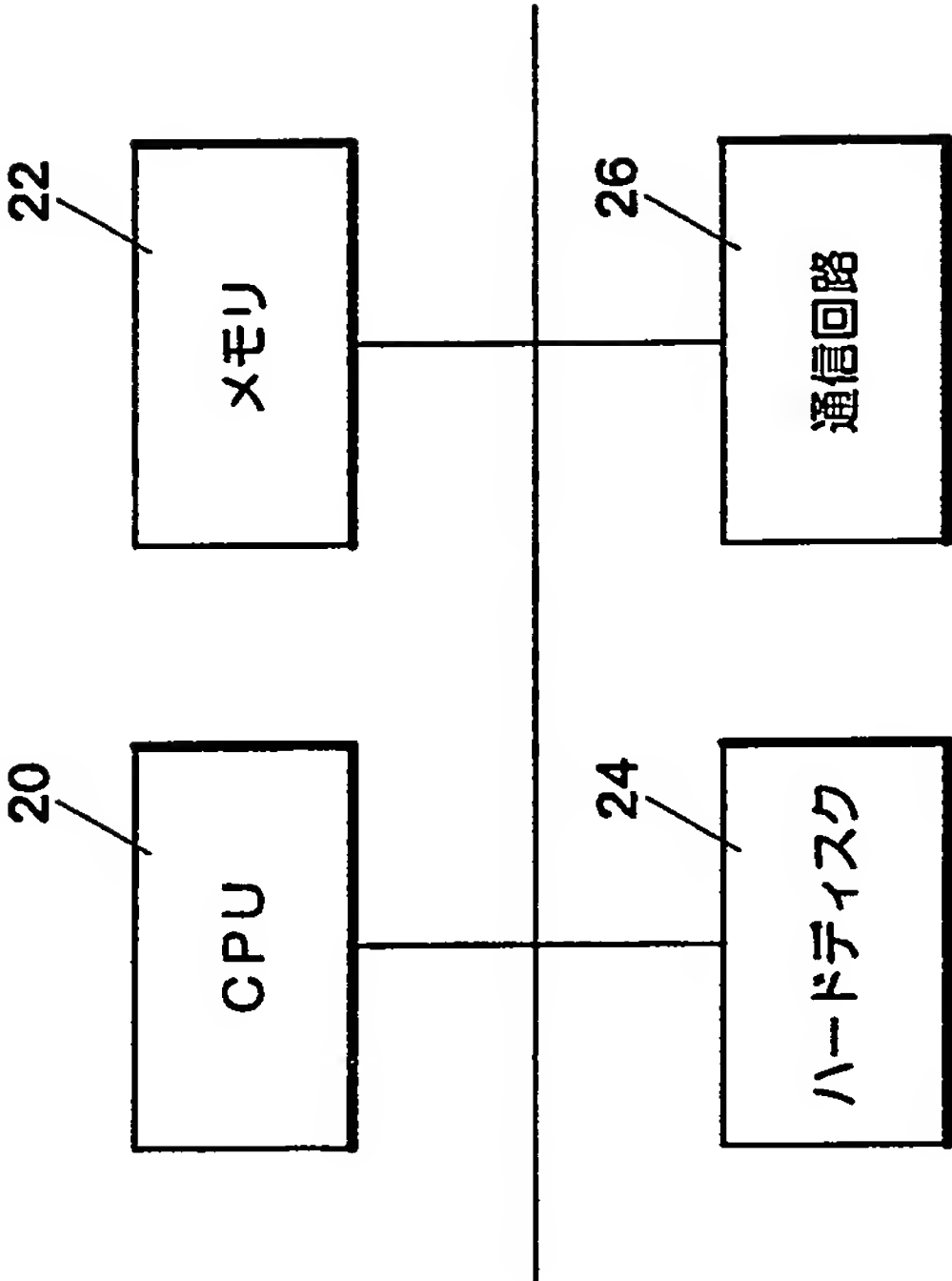


FIG.5

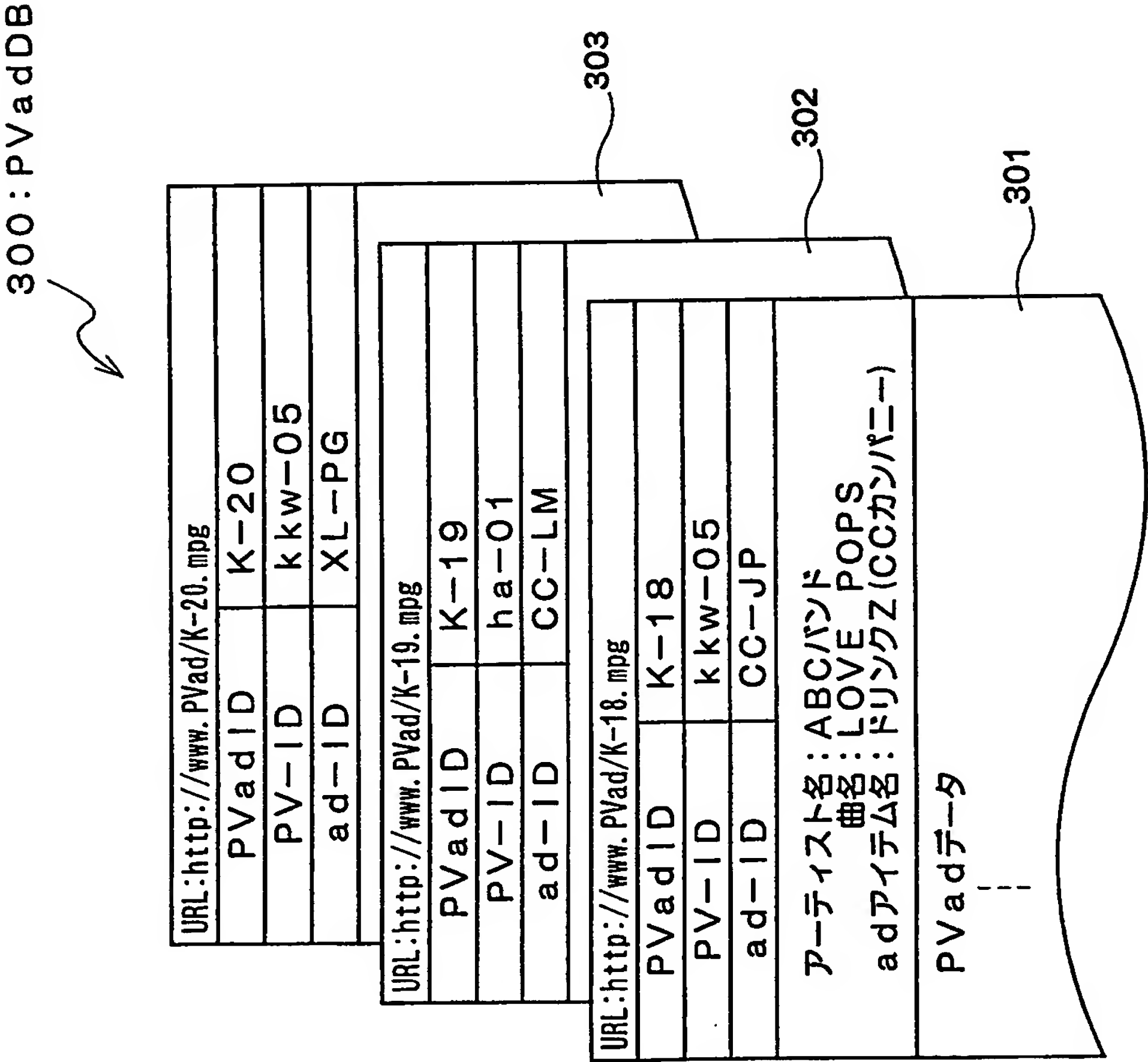


FIG.6

400:PVad視聴カウンタDB

PVadID	K-20
PV-ID	kkw-05
ad-ID	XL-PG

PVadID	K-19
PV-ID	ha-01
ad-ID	CC-LM

PVadID	K-18
PV-ID	kkw-05
ad-ID	CC-JP
アーティスト名:ABCバンド 曲名:LOVE_POPS adアイテム名:ドリンクZ(CCカンパニー)	
アドレス	アクセス日時
abc@xyz.com	12/25/01 17:15
yzn@opr.com	12/25/01 17:30
fhw@mpr.com	12/26/01 06:18
...	...

FIG. 7

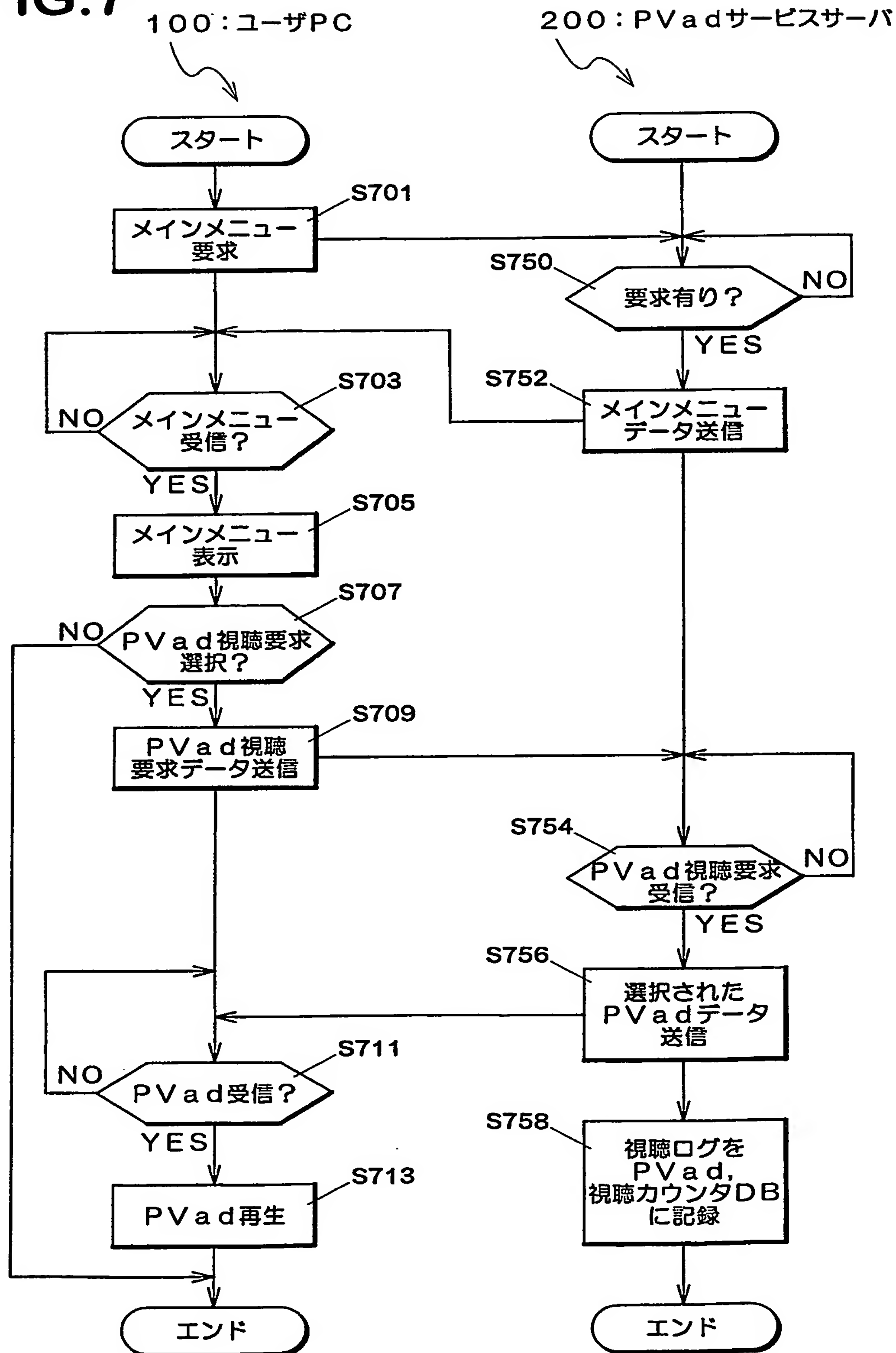


FIG.8A

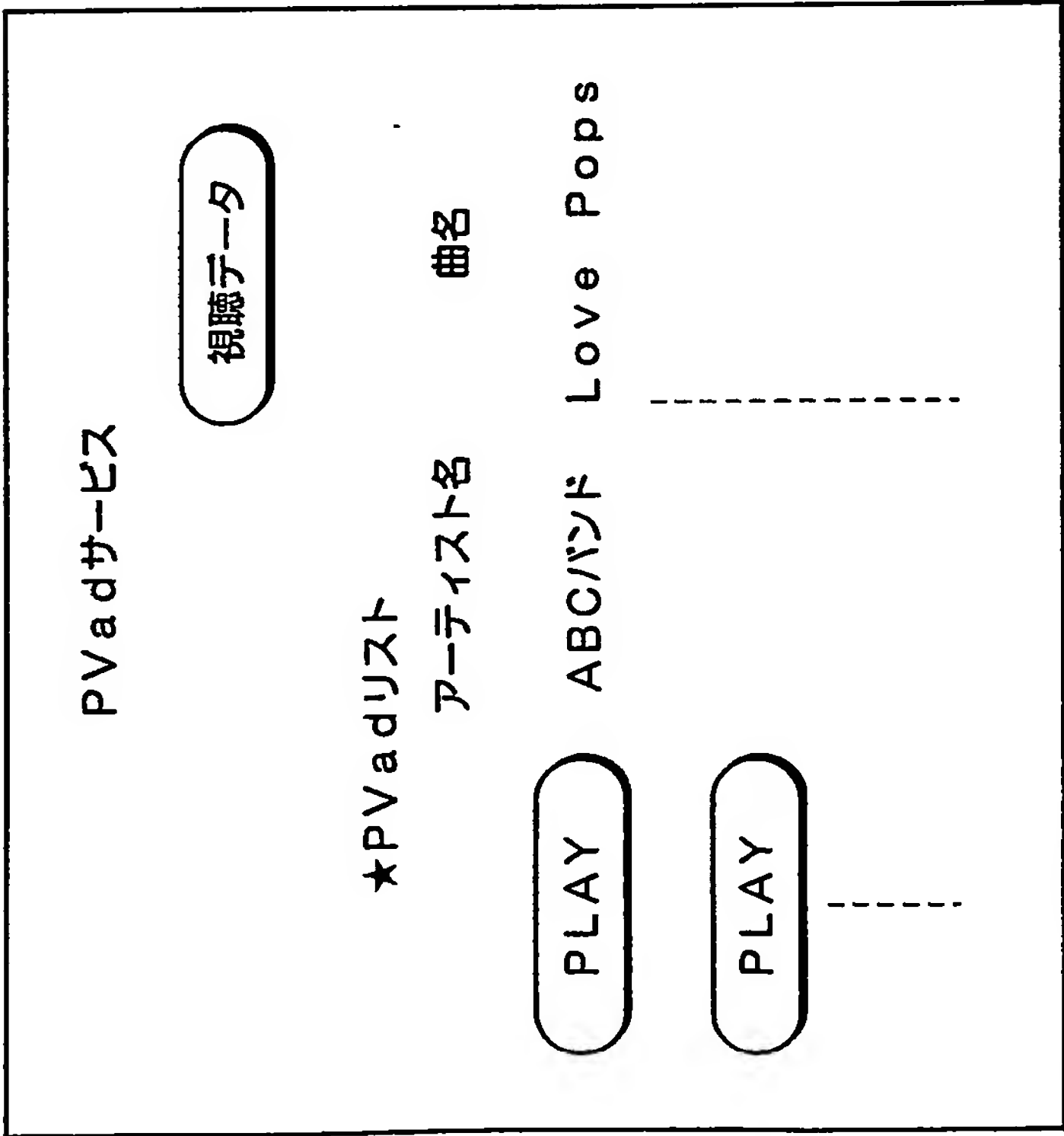


FIG.8B

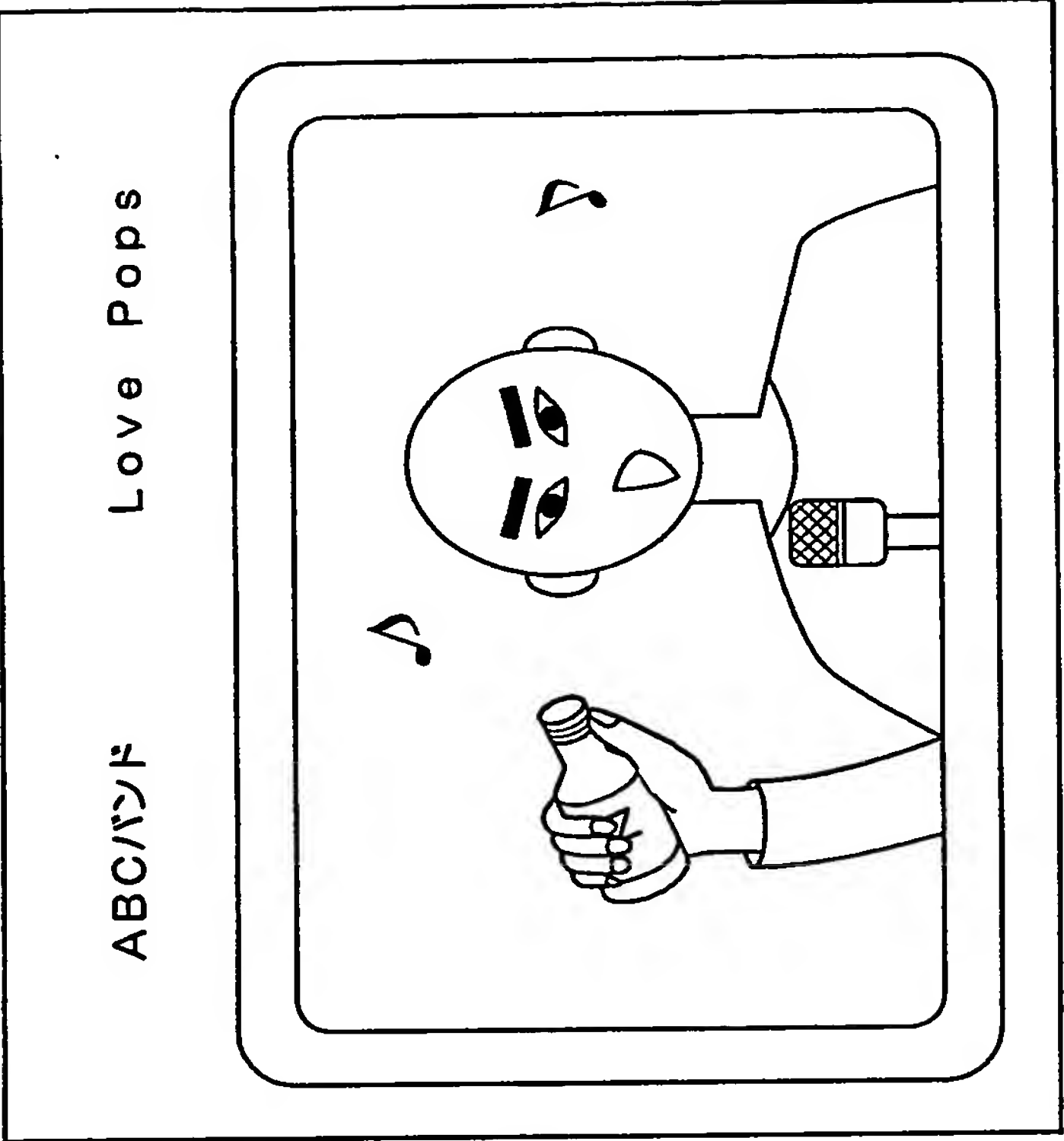




FIG.9

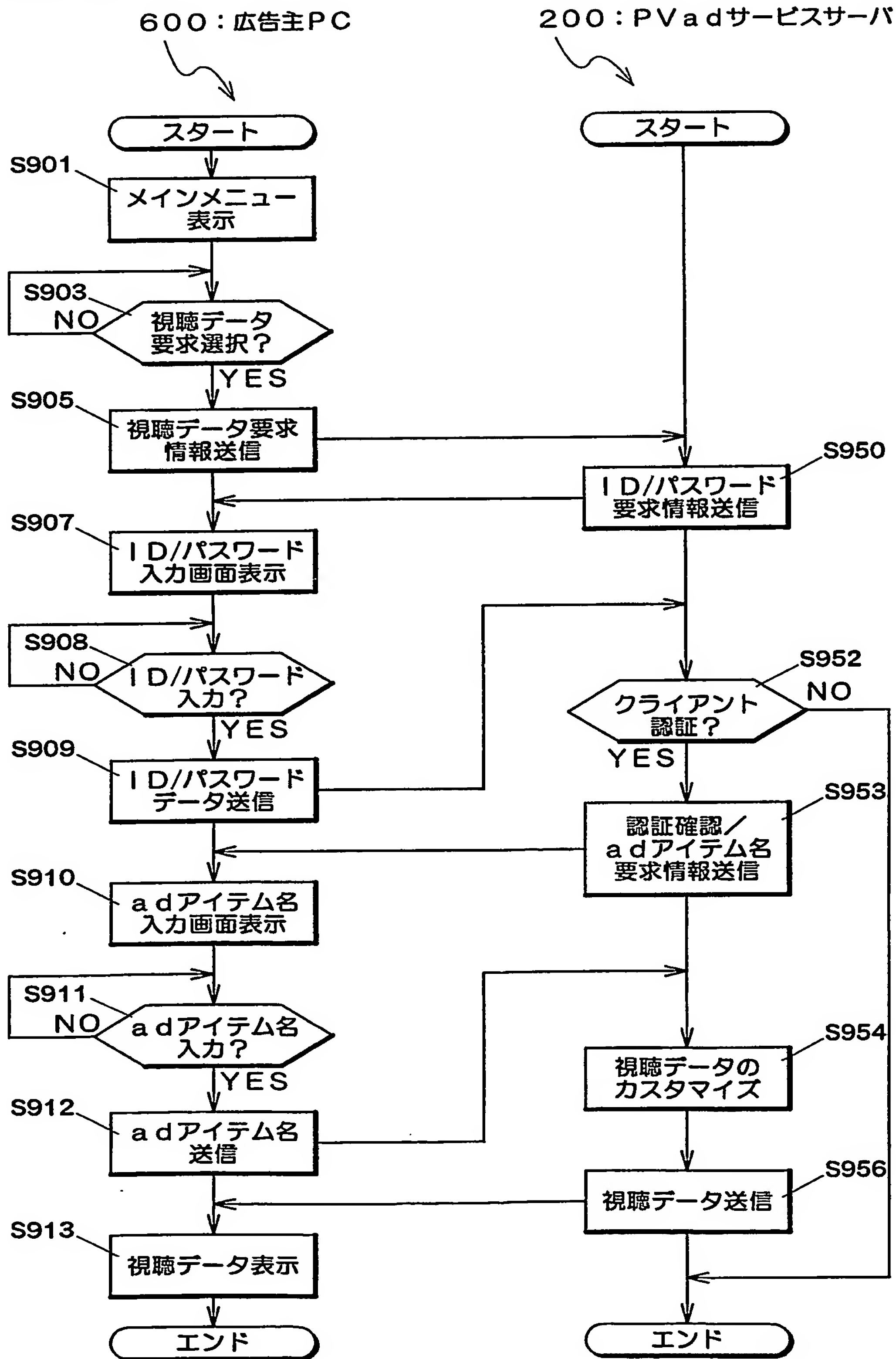


FIG.10A

PVadサービス

★視聴データ

ID/パスワードを入力してください。

ID IWZ365

パスワード \*\*\*\*\*

FIG.10B

PVadサービス

★視聴データ

ID/パスワードを確認しました。

★adアイテム名を入力して下さい。

ドリンクZ

送信

FIG.11A

FIG.11B

FIG.11C

PVadサービス

★視聴データ

アーティスト名: ABCバンド

曲名: Love Pops

adアイテム名: ドリンクZ

視聴数312,150

時間帯別アクセス

時間帯別アクセス数

アーティスト名: ABCバンド

曲名: Love Pops

adアイテム名: ドリンクZ

9:00~12:0042,300

12:00~15:0057,740

15:00~18:0070,258

18:00~21:00141,852

PVadサービス

★視聴データ

adアイテム名: ドリンクZ

①アーティスト名: ABCバンド

曲名: Love Pops

視聴数312,150

②アーティスト名: XYZ

曲名: Z-Rocks

視聴数27,555

時間帯別アクセス

PVadサービス

★視聴データ

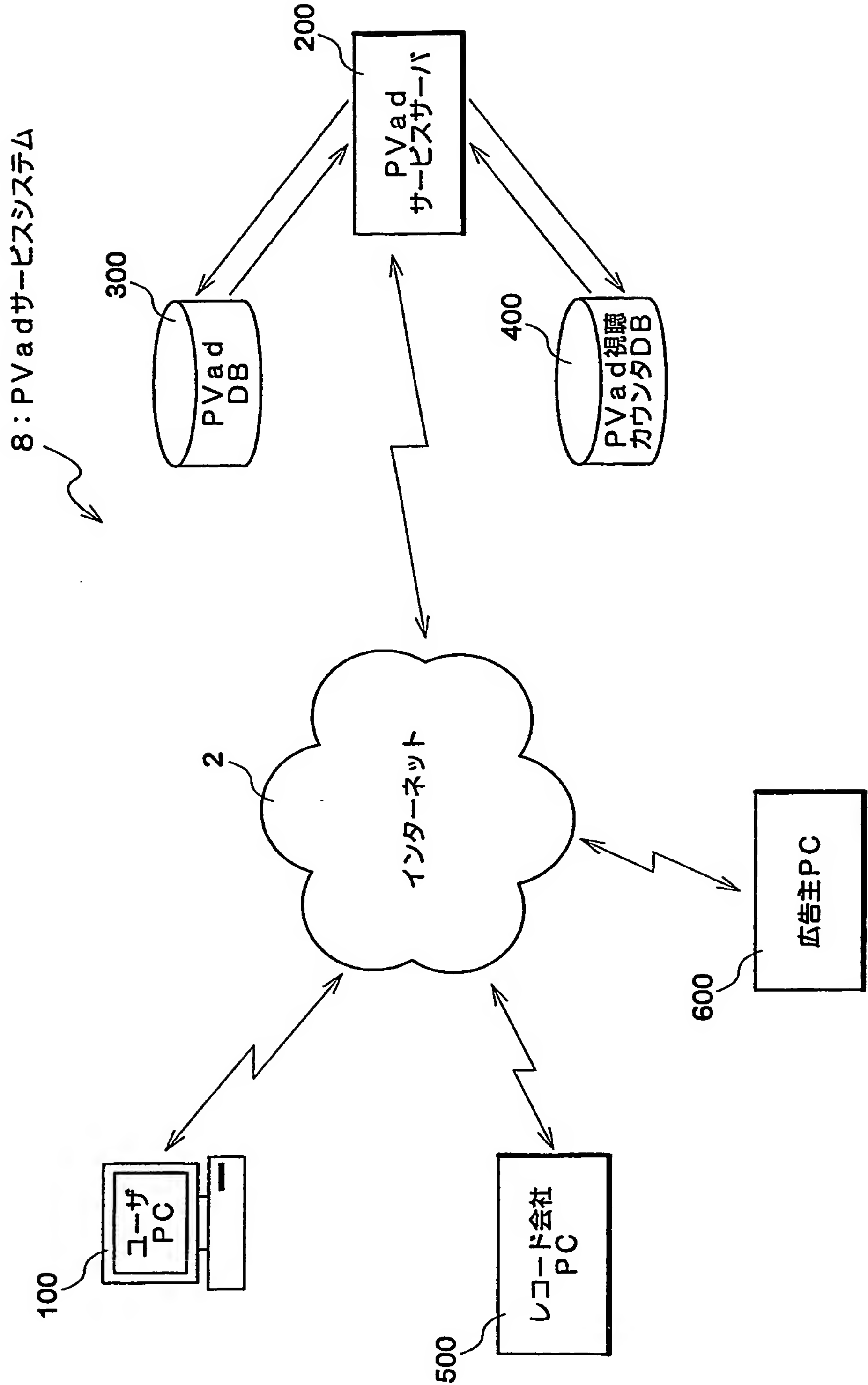
アーティスト名: ABCバンド

曲名: Love Pops

視聴数

538,238

FIG.13





# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PC/JP03/00193

## A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl<sup>7</sup> G06F13/00, H04N7/173

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl<sup>7</sup> G06F13/00, H04N7/173

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2003
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2003	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2003

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2001-256322 A (Cross Head Kabushiki Kaisha), 21 September, 2001 (21.09.01), Full text; all drawings	1-6, 9-11, 13-14
Y	Full text; all drawings (Family: none)	7-8, 12
X	JP 2002-6863 A (NEC Corp.), 11 January, 2002 (11.01.02), Full text; all drawings	1-6, 9-11, 13-14
Y	Full text; all drawings (Family: none)	7-8, 12

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

\* Special categories of cited documents:  
 "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance  
 "E" earlier document but published on or after the international filing date  
 "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)  
 "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means  
 "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention  
 "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone  
 "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art  
 "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search  
06 February, 2003 (06.02.03)

Date of mailing of the international search report  
18 February, 2003 (18.02.03)

Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PC P03/00193

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2001-167183 A (Action Click Co., Ltd.), 22 June, 2001 (22.06.01), Full text; all drawings (Family: none)	7-8, 12

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> G06F 13/00, H04N 7/173

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> G06F 13/00, H04N 7/173

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年

日本国公開実用新案公報 1971-2003年

日本国登録実用新案公報 1994-2003年

日本国実用新案登録公報 1996-2003年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP 2001-256322 A (クロス・ヘッド株式会社) 2001.09.21, 全文, 全図	1-6, 9-11, 13-14
Y	全文, 全図 (ファミリーなし)	7-8, 12

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&amp;」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

06.02.03

国際調査報告の発送日

18.02.03

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

小林 義晴



5R

9572

電話番号 03-3581-1101 内線 3563

C (続き) . 関連すると認められる		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP 2002-6863 A (日本電気株式会社) 2002. 01. 11, 全文, 全図	1-6, 9-11, 13-14
Y	全文, 全図 (ファミリーなし)	7-8, 12
Y	JP 2001-167183 A (アクションクリック株式会社) 2001. 06. 22, 全文, 全図 (ファミリーなし)	7-8, 12

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**